

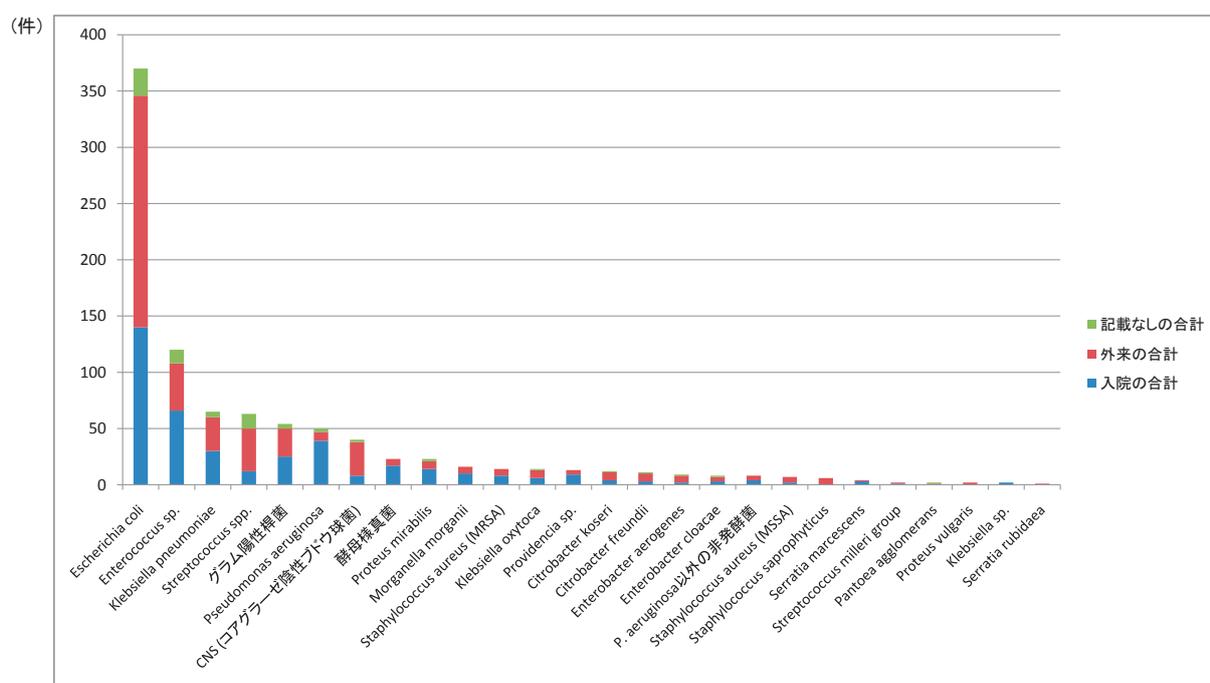
## 細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、尿からの細菌検出状況と、その中で最も多く検出されている *Escherichia coli*（大腸菌）の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

### 【細菌検出状況】

【尿】細菌検出状況 2017年10月



尿路感染症の感染経路は、尿道口から侵入した細菌が尿路をさかのぼって感染、炎症を起こす「上行性感染」によるものがほとんどで、大人でも赤ちゃんでもかかる可能性があります。女性では尿道が短いため起こりやすく、男性では陰茎の包皮と亀頭の中に垢が溜まり、外尿道口が汚染することによって起こる事があります。

*Escherichia coli*（大腸菌）は尿路感染症の起因菌として約8割を占めるとされており、当検査センターでも年間を通じて最も多く検出されています。

## 【細菌薬剤感受性情報】

2017年10月分

## アンチバイオグラム（Escherichia coli）

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PIPC	ペントシリン	55	11	34
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	47	2	52
	CMX	ベストコール	70	0	30
	CTX	セフトラックス	56	0	44
	CTRX	ロセフィン	70	0	30
	CAZ	モダシン	82	7	11
	CZOP	ファーストシン	69	10	21
	CFPM	マキシピーム	82	9	9
	CMZ	セフメタゾン	99	0	1
	FMOX	フルマリリン	99	1	0
セフェム系経口薬	CPDX	パナン	58	1	41
	CFPN	フロモックス	59	2	39
	CDTR	メイアクト	59	2	39
	CFTM	トミロン	70	0	30
カルバペネム系	IPM	チエナム	100	0	0
	MEPM	メロペン	100	0	0
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	87	9	4
	ACV	オーグメンチン	80	14	6
	S/C	スルペラゾン	97	1	2
	T/P	ゾシン	97	3	0
アミノグリコシド系	AMK	アミカシン	100	0	0
	GM	ゲンタシン	85	0	15
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	94	3	3
その他抗菌薬	FOM	ホスミシン	91	1	8
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	48	3	49
	TFLX	オセックス	40	1	60
	GRNX	ジェエナック	50	4	46
	ST	パクタ	79	0	21

## Escherichia coli 材料別 ESBL 検出状況

	呼吸器系	消化器系	泌尿器系	血液・穿刺液系	その他(膿など)
ESBL	53%	6%	29%	33%	33%

ESBL 産生菌に対しては、セフェム系、ペニシリン系抗菌薬の使用に注意が必要です。

また、Escherichia coli 全体の約半数にキノロン耐性が認められます。

当検査センターホームページでは詳細な情報をご覧いただけます。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/